

ご案内



阪神・淡路大震災以降、災害時には多くのボランティアが被災地支援に駆けつけるようになりました。東海地震が心配される静岡県でも、ボランティアの力は大きな支えになるものと期待されています。

災害時のボランティア活動は、何より被災地の人たちにとって本当に必要なものでなければなりません。災害ボランティアコーディネーターは、そうした被災者中心のボランティア活動を進める上で大切な役割を果たします。この講座は「災害時のボランティア活動とは何か」「被災した一人ひとりに支援が届くためには何が必要か、何が大切なのか」を学ぶ基礎講座です。

昨年8月11日に起きた駿河湾を震源とする地震は、改めて東海地震に備えた取り組みを考える機会となりました。いざという時に備えて地域の“受援力(被災した側の支援を受ける知恵、ワザ)”を高め、被災者となった私たち自身が求めるボランティア活動が展開されるよう、平常時から積極的に関わっていただける皆様のご参加をお待ちしています。

1日目



9:30 開講式

9:40 オリエンテーション

10:10 【セミナー1】 東海地震、そのとき私たちは？

—避難所運営ゲーム(HUG)を通して考えよう—

◇ゲーム形式で避難所運営を体験し、大規模災害によって私たちに何が起きるのか、地域はどうなるのかを具体的に考え、“被災”する状況をイメージします。

講 師：静岡県賀茂危機管理局 ※下田会場、静岡県東部危機管理局 ※伊豆の国会場

協 力：社会福祉協議会、他

12:40 昼休み

13:30 【セミナー2】 必要な人に必要な支援が届くために

◇被災した人たちは何を感じ、何を必要とするのでしょうか。また、一人ひとりが必要としていることは誰がどのようにつかみ、対応すればよいのでしょうか。

避難所の事例などをもとに考えます。

講 師：松田 曜子(特定非営利活動法人レスキューストックヤード事務局長)

16:30 ふりかえり

16:45 終了